

令和4年度 第2回 市民参加推進会議（会議録概要）

開催日時	令和4年10月26日（水）午後1時30分から3時30分まで
開催場所	白井市役所東庁舎3階 会議室302・303
出席者	吉井会長、野口副会長（オンライン参加）、竹内委員（オンライン参加）、 稲葉委員、小川委員、花山委員、寄本委員、佐々木委員
欠席者	0名
事務局	内藤市民活動支援課長、石田主査補、高橋主事
傍聴者	3名
議題	（1）令和3年度市民参加の実施状況に対する総合的評価
資料	①令和4年度第2回白井市市民参加推進会議 次第 ②【資料1】評価まとめ表 ③【資料2】評価付表 ④【資料3】第3回会議スケジュール（案） ⑤【資料4】担当課ヒアリングについて ⑥【参考資料】令和3年度市民参加に関する職員研修及び令和4年度市民 参加実施事業担当者研修について

（会議次第）

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
（1）令和3年度市民参加の実施状況に対する総合的評価
事業番号① 白井市第3次環境基本計画
事業番号② 第3次しろい健康プラン策定事業
事業番号③ 第2次行政経営改革実施計画策定事業
- 4 その他
- 5 閉会

（会議内容）

議題

（1）令和3年度市民参加の実施状況に対する総合的評価

事業番号① 白井市第3次環境基本計画

○委員 審議会に関しては、市民の割合というのも、もう少し多くてもよかったのではないかと考えています。

ただ、それ以外にアンケートやワークショップをしっかりとやっています。あとは、そのほかの方法ということで、環境団体の意見を聞いたりとか、様々な参加の手法を採用しており、さらにそれが審議会の議論にしっかりと反映させられるようなスケジュールで行われていたので、大変評価ができると思います。全体として、いい市民参加が行われたのではないかと思います。

また、ワークショップの開催に関しましては、Facebookを用いた報告で、この会議でもた

まに言われるのですけれども、SNSを用いてしっかり行えていましたし。アンケートでも、学校に配布して、かなり高い回収率で意見が吸い上げられていたので、大変良かったかと思えます。

○吉井会長 私の場合は、基本的にはこの事業に関しては、各項目とも、ここに書いてありますけれども、よく対応されているというふうに私は認識しております。

対応はされているのですけれども、ただちょっと残念なところは、各周知の方法それぞれ書いてありますけれども、よく対応はしているのですけれども、周知の方法に若干不足が見られる、各項目で、ではないかと。周知の方法、ないしは公表の方法に不足が見られる（不足ですから決定的なものではないのですけれども）というふうには、私は考えました。

全体的には、よく対応されているという評価はさせていただきました。ということで、私のほうは簡単ですけれども、そういうことになります。

○委員 一応、総合コメントにも書きましたけれども、いろいろな角度からいろいろな手法を採ってやっていたということで。素晴らしかったというふうに思っています。

一つだけちょっと残念だったのは、その他のところで環境団体と打合せしたのは、すごい素晴らしいなと思ったのだけれども、何で1年空けてやったのかなというのがちょっと気になったことです。

令和2年度にやって、3年度じゃなくて、集中して半年以内ぐらいにやっていたら良かったと思いました。あとは素晴らしかったと思います、市民参加としては。

○委員 総合コメントのところに書いてありますように、市民参加の手法が求められている内容に、おおむね採られていると思いました。

ただ、審議会の回数が令和2年度、1回というのが少ないなど。恐らくコロナの関係だと思えますけれども、これまでの審議会等も、昨年あたりを見ている、結構、書面会議等をやったりして工夫がされていたと思えますけれども。この審議会に関しては、2年度が1回しかないというのは、ちょっと少ないかなというふうに思います。

それから、傍聴者が結構、令和2年、3年は、毎回何人かおられて、非常に関心の高いテーマであったのかなということも伺えますし、市としても、かなり力を入れて、このテーマで取り組んでおられるなと思いました。

ただ、アンケートの件数なのですが、小中学生、1,416件アンケート調査を依頼して、回収率は別にして、18歳以上の市民に対しては、2,000件しかアンケート調査をしていないというのは、ちょっとバランスが、どういうふうにしてこの件数にしたのか分かりませんが、小中学生の件数から比べると、18歳以上の市民に対して2,000件というのは少ないのではないかなというふうに思いました。

担当課のヒアリングのところでは、このアンケートを小学4年生と中学2年生をターゲットにしている、その求めた理由を教えてくださいなということも思ったのと。あと、センターで6回ワークショップを開催していますけれども、参加人数60名というのは、予定人数から見て、どのように評価しているのかなというのと。

あと、資料でよく分からなかったのは、参加者のワークショップの資格は、小学校5年生以上の白井市在住もしくは在勤の人と書いてあるのだけれども、こういう幅広い年齢の人をワークショップにどういうふうにして集めてやられたのかなというのは、ちょっとお聞きしたいなというふうに思いました。

○委員 複数の手法を使って市民から多くの情報を得ているという、そういう努力をされたのは、評価したんですけれども。

あともう一つは、評価したのは、得られた情報の整理分析というところがちゃんとされていて、それも、ちゃんとしっかり公開されているのですよね。そこが良かったのじゃないかというふうに思います。要するに、市民とつながるところに対して、情報提供もちゃんとされているというところ。

ただ、いろいろな手法の中で、募集とかアンケートの事前周知とか結果の公表などで市の条例が求める基準を満たしていないというのは、結構、全ての事業を見ていてそうなんですけれども、多かったのと。

あと、望ましい水準を満たす工夫というのはされているのかなということですよね。そこがちょっと気になりました。そういうところは、与えられている水準を満たせばいいというのじゃなくて、もう少し、こういうことやったよというのがどこかへ出ると、すごくプラスだと思います。

○委員 先の話になってしまうことで、総合コメントを書かせてもらったのですが。環境のことだから、今後のことを考えると、アンケートを小学4年生、もしくは中学2年生を対象したのではなくて、もう少し、関心持つという意味であれば、もう少し年齢が上の中学生から高校生ぐらいとか、そういうふうにしたらどうかなというのを。評価表を全般的に見させていただいて、そんなふうなことを思いながら評価させていただきました。

あと、担当課様にヒアリングさせていただきたいと思ったことは、1期と2期と環境のことだから分けているのかなとも思うんですけれども、それはどのようなことで分けているのかなということは少し疑問に思いましたので、ぜひ聞いてみたいと思います。

同時期にセンターでワークショップが開催されているところとか、あと、それに対する、ワークショップに関する、事前に周知もしっかり行われているので、しかも広報以外にも、ホームページや図書館とか、あちこちでされているので、その点評価されるべきことだと思います。

○委員 市の重要政策ということで、いろいろな手法を採られていて、その点はすごく良かったのかなという部分は思っていました。

ただ、周知とか公表とかの方法を、もうちょっとSNS使ったりとかネットを使ったりとか、もうちょっと市民に届くようなふうにしてもらえたら、もっと評価が高くなったのかなという部分は思っていました。

あと、ヒアリングで聞きたい部分は、書いてあるのですけれども、会議内容が分かりやすいようにしているというふうに調査票には書いているのですけれども、じゃあ、これはどういうふうに分かりやすいようにまとめてもらっているのかなとか。もし好事例になるようであれば共有してもらいたいので、分かりやすいようにしているという部分がどうなっているのかというのが聞きたいのが1点と。

もう1点、アンケートの回収です。同じ郵送で市民、事業者、やっているのですけれども、市民53%、約54%、事業者約34%で20%違うので、これ何で同じ郵送なのに、市民と事業者でこんなに違うのかなという部分、回収率を上げるために何か工夫しなかった、したという、その部分は聞いてみたいなと思いました。

○委員 皆さんがおっしゃってございましたとおり、私もこの計画について、様々な方法で市

民参加を実施されている点が、すごくいいと思いました。全ての手法で議論をされていることが、資料から読み取ることができました。

また、素晴らしいと思った点は「アンケート・環境団体意見交換会の意見反映の方向性」というものを公表されて、具体的にそのアンケートや意見交換会の市民参加された皆さんの御意見が、どのようにこの計画に反映されたかを公表されている点が素晴らしいと思いました。

皆様の質問とかぶってしまうのですが、アンケートの対象、児童、生徒の代表として、小学4年生と中学2年生を抽出しているのはどうしてなのかなという点と。既に議論がなされていたら申し訳ないですけども、審議会の公募委員のうち、無作為抽出が2名のみとなっているのは、何か背景がありましたら教えていただきたいなというふうに思いました。

特にアンケートについては、回収率も高くても目的も明確で、どのように反映されたかということが公表されている点で素晴らしいと思いました。

○吉井会長 ありがとうございます。それでは、委員の方々から様々な御意見頂いておりますけれども、これらの御意見を踏まえて、全体で議論を深めていくということにさせていただきたいと思いますが、いかがでございましょうか。

○事務局 今、●●委員のほうから頂きました担当課ヒアリングでの質問事項というところですけども、審議会の公募委員のうち、無作為抽出が2名なのはなぜですかというような御質問を頂いたかと思えます。

この無作為抽出の公募委員登録制度というのが、私たち市民活動支援課のほうで所管している制度になっております。一応、審議会の公募委員を募集する際には、あらかじめ一般公募と、この無作為抽出制度を半々で採ってくださいというようなことでお願いをしているところがございます。

今回の環境審議会の公募委員の人数というのが、たしか5名だったと把握しております。5名のうち半分ですので、2名ないし3名を無作為抽出からピックアップしていただくようにお願いしますということで、これは当課のほうからお願いをさせていただいた事項になりますので、御承知おきいただければと思います。よろしくお願ひいたします。

○委員 ありがとうございます。

○吉井会長 ありがとうございます。

さて、それで皆様方、それぞれの方の御意見を伺った上で、いかがでございましょうか。

大体、点数のつけ方という、点数の上下はあろうかと思えますけれども、皆様方のおっしゃっていることは、大体同じような方向でというふうには読み取れますけれども。特に今まで御発表の中、この点を強調というの、もしありましたら追加で。まだ多少お時間ございますので、おっしゃっていただければ。いかがでしょうか。皆様方、大体こういう感じでおっしゃられたことで、おおむねおっしゃられていますですか。

事務局としては、いかがですか。これで一応次に行っちゃいそうなんですけれども。

○事務局 もし特になければ、事務局のほうから確認ということで進めさせていただきたいと思えます。よろしいでしょうか。

○吉井会長 ありがとうございます。すみません。よろしいでしょうか。

○事務局 承知しました。

それでは、ただいま頂きました御意見につきまして、確認をさせていただきたいと思いま

す。順不同になってしまうのですが御容赦いただければと思います。

まず、良かった点といたしましては、様々な市民参加の手法を用いて市民の意見を取り入れられていた点は評価できるというような御意見がございました。

それから、ヒアリング等で市民の意見を集めた上で、それらの結果というものを審議会で議論していただきまして、しっかり審議会で反映をさせていたことは高く評価をできたというような御意見がございました。

それから、アンケートのほうですけれども、回収率が非常に高かったことが評価できるというような御意見。それから、ワークショップの開催のほうで、Facebookを用いて広く周知をしていただいた点は評価できるというような意見がございました。

それから「アンケート・環境団体意見交換会の意見反映の方向性」というもので掲示をされている意見交換会で出た意見というものを公表をして、しっかり生かされているというような御意見を頂きました。

それから、アンケートについても、回収率が非常に高く、回収した目的というのも明確で非常に良かったというような御意見を頂きました。

それから、同じようなものですがけれども、様々な角度から複数の市民参加の手法を取り入れて実施をしていたところは、非常に良かったというような御意見を頂きました。

それから、審議会の傍聴者が多かったということで、市民の関心の高いテーマであったことが分かるというような御意見を頂きました。

それから、アンケートですとか、そういったもので得られた結果につきまして、しっかり整理または分析をして、しっかり市民の方に公表をしている点は評価できるというような意見がございました。

それから、ワークショップのほうですけれども、開催の事前周知のほうも複数の箇所で行われており、大変評価できるというような御意見と。併せて、同じ時期に各センターでワークショップが開催されていることは、評価できるというような御意見を頂きました。

それから、市の重要政策でありますので、それにふさわしい市民参加の手法が採られていたというようなことが挙げられておりました。

一方で、改善点といたしましては、審議会につきましては、市民感覚を大切にする会議ではありますけれども、市民の割合が5割に達していなかったのもう少し工夫が必要だったのではないかとというような御意見を頂きました。

それから、各手法において事前周知、あるいは結果公表に若干不足のところが見られたところで、改善の余地があるのではないかとというような御意見を頂きました。

それから、同じような形で、市民への結果公表の時期が遅かったというような御意見です。それから、各団体との意見交換会です。その他の手法のところになりますけれども、間隔が空いてしまったので、もう少し集中させるなど工夫の余地があったのではないかとというような御意見を頂きました。

それから、審議会ですけれども、令和2年度の開催が1回のみということで、少ないのではないかとというような御意見と。

それから、アンケート調査ですけれども、小中学生に対して1,416件アンケートを取ったにもかかわらず、それと比べると、18歳以上の市民に対しては2,000件としたということは、ちょっと少ないのではないかとというような御意見を頂きました。

それから、各手法全般に言えることとして、募集ですとか事前周知、または結果公表について、条例が求める基準を満たされていない場合が多いということで、今後につきましては、望ましい水準を満たすような工夫というのを取り入れていく必要があるというような御意見を頂きました。

それから、これも今後についてですけれども、アンケート調査の対象者は小学生から中学生ではなく、もう少し関心を持つであろう中学生以上、または高校生、こういった方を対象にしてみてもどうかというような御意見を頂きました。

それから、最後に周知公表の方法。これがちょっと限定的であったということで、若い世代にも見てもらえるようSNSですとかネット、こういったものも駆使して周知公表を進めていく必要があるというような御意見を頂きました。

最後に、担当課への質問事項ですけれども。アンケートの対象者として小学4年生と中学2年生からとしているのはなぜかというような御質問を頂きました。また同じく、アンケートの対象が小学4年生と中学2年生に求めた理由はなぜだったかというような御質問がありました。

それから、ワークショップのほうですけれども、各センターのほうで6回開催をしておりますけれども、参加者、計60名は、担当課が考えていた予定人数に対して多かったのか少なかったのか、どのように評価をしているのかというような御質問を頂きました。

また、そのワークショップですけれども、小学5年生を対象として、どのように集めて実施をしたのか知りたいというような御質問を頂きました。

それから、審議会のほうですけれども、第1期と第2期、こちらを分けている理由ですとか、メリット等はあるのかというような御質問を頂きました。

それから最後に、会議の内容が分かりやすいようにしているということで、調査票に記入を頂きましたけれども、具体的にはどのように工夫をされているのか知りたいというような御意見を頂きました。

あともう一つ、アンケート調査ですね。同じ郵送でも、市民と事業者で回収率が20%違うということで。そうなった理由、背景等を知りたい、お聞きしたいというような御質問を頂いたところです。

事業番号② 第3次しろい健康プラン策定事業

○委員 今回のこの健康プラン策定事業に関しましても、審議会以外にパブリックコメント、アンケートと意見交換会を開催されていて、それが審議会の中に組み込まれているようなスケジュールでは行われていたので、評価できた。ちゃんと、様々な手法を取り入れていて良かったなと思えた一方で、例えば意見交換会は、人数が少なかったというところで、学校の先生も通じてお願いすれば、人が集まって、にぎやかにできたのじゃないかなと思いましたので、そこら辺はもう少し集められたのではないかなと思いました。

前回の環境もそうですし、健康プランもそうなのですが、アンケートであったりとか、意見交換会における情報というのが、審議会の中で共有されてはいるような気がするのですけれども、どんなふうに反映されたのかというところが気になります。

アンケートや意見交換会は様々な意見が出ますので、そういうものを審議会等で反映していく上での難しさなんかや工夫されていることなどがあれば、いい事例にもなるのかな、

いいことがあれば事例の共有にもなるのかなと思いましたが、担当課ヒアリングに聞いてみたいと思いました。

○委員 こちらも審議会の設置、パブリックコメント、アンケート調査、意見交換会の開催と多角的に意見をお聞きになっている点は大変いいと思いましたが。

まず一つ目の審議会の設置につきまして、書面会議にて実施されたというふうを書いてあったのですが、例えばZoomなどを使ったオンライン会議を検討される余地はあるのかなというふうに感じました。

2番目のパブリックコメントと提出された意見に対する市の考え方についてなのですが、①のほうの計画は原文を確認することができたのですが、私の探し方が悪いのか、こちら健康プラン策定事業のパブリックコメントは、この資料ですと、提出された意見の内容は原文のまま公表と書いてあるのですが、見当たらなかったのです。もし公表されているようでしたら、インデックスか何かがついていると探しやすいなというふうに感じました。

次のアンケート調査の実施についてなのですが、これも前の①の事業と比較しますと、①の事業ですと、実施したアンケートをどのように意見を反映されたかということについて、アンケートを環境団体意見交換会の意見反映の方向性という書類が作成されているのですが、こちらはどのように反映されたのかということが、ちょっと外からは分かりづらいなというふうに感じました。

最後に、四つ目の意見交換会の開催についてなのですが、意見交換会について、資料編には引率の先生もお見えになっていたと書いてあったので、参加されたのは同じ高校の生徒さんだったのかなというふうに感じたのですが、例えばその生徒さんたちプラス、公募で募った方も参加できるような形にしてもよかったのかなというふうに感じました。

○吉井会長 簡単に申し上げます。おおむね対応されているというふうには見まされたのですが、ただ、残念なことに、審議会と意見交換会について、项目的に不十分どころが見受けられて。個人的な感覚としては何か不足感というのですか、何か自分が納得できない、満足できないという感じの不足感が残ったということで。基本的には、点数的にはおおむね悪くないのですが、そういうものが残ったということでごさいます。

あと、ヒアリングの質問といいますか、そちらの事項としては、意見交換会の複数の設定は検討されなかったのでしょうかというのを一つ載せさせていただきました。

○委員 もしかしたら、市民の意見を一番吸収しないといけない事業部の話だと思うのですが、これは意見交換会にはなっていないと思います。

というのは、7月15日の広報に、市長とカレーライスを食べましょうというような御案内が出て、高校生を対象にあった話だったと思うのですが、それが広報に載っているのですが集まらなくて、白井高校のサッカー部の1年生の10人を高校の先生にお願いをして集めてやった会議のようです。この会議には、女性が一人も参加していません、特定の団体の男性だけの意見です。また、審議会も、会議の開催も含め不十分と思いましたが。

○委員 この第3次のしろい健康プランの対象世代が、特定世代のかなというふうで、いろいろ手法を採られている中で思いました。基本的には全世代だと思うのですが、特

定世代の健康プランを考えた、これは事業だったのかなというふうに、私は疑問に思いました。

それから、第1期の審議会の公募委員の応募が少なく、第2期においても同様だったのですけれども。第2期の募集時には、何らかの対策を講じて募集をされたのか、そこがよく分からないといえますか、疑問に思います。

それから、審議会の開催回数も、1年半で4回というのは少ないのではないかなと。それから、20歳以上の市民に対するアンケート発送数が2,000件も少ないと思うし、2,000件とした理由を教えてくださいなというふうに思いました。

それからあとは、座談会の話は、●●さんから中身のお話あったんで、私はそのところは質問からは省きますけれども。ここでもアンケート、意見交換会、高校1年生と小学校5年生、これを対象にした理由を聞いてみたいなというふうには思います。

○委員 まず、それぞれの事業計画とか、そういう実績データが、基本的には年度を追ってちゃんと整理されていて、私としては見やすかったし、確認がしやすかったなというふうに、そこは評価しています。

ただ、ホームページとかいろいろ見ていて思ったのは、パブリックコメントに対するデータが読めないのですよ。どこにどう書かれているのかがよく分からなかったのと。

あとは、意見交換会に何名参加して、どうだったかというところも、よく分からなかった。一応全体としては、きちっとやられているように見えるのだけれども、肝心なところでどうだったかというのを見ようとすると、見えないところが幾つかあるというのがちょっと不満が残りました。

○委員 紙面によることの、こちらの調査票からのことで、私もいろいろ評価させていただいているので。そういう細かいことの背景とかを全般的に分かっていれば、もっと自分の評価の、少しそういったこともきちんとできるかなと思うのですけれども。

こちらのほうも、先ほどの事業と同じように、1期と2期に分かれて、また、高校へも全て入れ替わっているということの理由はあるのかなというように、審議会に関してなのですが。そこら辺をちょっとヒアリングなどでお伺いさせていただきたいなと思っています。

あと、私が思ったことの一つに、小学生のアンケートの回収率が90.9%と大変よいので、こちらは学校に依頼してアンケートをしてもらい、そして学校にまとめてもらい、回収するという過程が、回収率を上げる形につながり、その点が素晴らしいと思いました。

○委員 私も会長と同じで、全体的に何となく物足りないなというのが拭えない感がありました。一応何かできているのだけれども、もう一声みたいな部分が結構多かったのかなというのが全体的なイメージで。

強いて担当課さんに聞いてみたいというのは、アンケートの公表、何でこんなに遅かったのというのは気になります。12月とかに締め切っているのに、公表、4月の末で、ゴールデンウィーク直前とかなので。アンケート書いた人も、私、何書いたっけとなりかねないと思うのです。皆さん、多分興味がなくなっていく。4か月もたっていると、もう、ああっていう、興味がなくなっている状態だと思うので。

集計に時間がかかると思うのですが、できれば1か月、1か月半ぐらいで公表してもらえると、書いた人も、ほかにこんな意見あったんだなとかというふうな振り返りにもなると思うので。その部分は改善してもらいたいなというのが一つです。

○吉井会長 ありがとうございます。

それでは、皆様方の御意見ございましたのですけれども、その皆様方の御意見を踏まえて、改めてここで、議論の深みというところで、多少お時間取らせていただきますけれども。御意見いかがですか。

それぞれの方の御発表を受けて。そう、あるいは、そういえばみたいな。そんな感じ、いかがでしょうか。おかげさまで、事務方の事務局の方がいろいろまとめていただいてペーパーになっていますので、これで大体分かるといえば、なるほどという感じはあるのですけれども。改めて今、肉声で伺ってということなのですけれども。

○委員 ●●さんも言っているけれども、中途半端だねというのを。審議会が一番端的だと思うのですよ。会議やったときの審議を1時間ぐらいと書いてある。あとは書面なのです。何となくまともなのは、アンケートだけかなと。

特に、これ学校経由で、生徒さんに、お母さんたち書いてくださいって出したのだから、少なくとも、私コメントも書いたのですけれども、小学校ぐらいには、皆さん何千人の生徒さんから聞いた、こんな結果でしたよというのをPTA経由でもお母さんたちに公表するとか。情報コーナーに公開したとかいうのじゃなくて、それが直接的な市民参加のやり方なのじゃないかなと。

○吉井会長 ありがとうございます。皆さんいかがですか。

私もこう言っちゃ何ですけれども、伺って、そうだなというふうに、ちょっと思っちゃいました。その辺は書きとめていただいていますものね。これ大事な話でした。

全体を通して、さっきも申し上げたのですけれども、何か不足感というか不満感が。事業にけちつけるつもりは全くないのですよ。一つの手法として、それは正直感じたものがございました。そういうことで。

あと、事務局の確認のほうに入りましょうか。お願いします。

○事務局 ありがとうございます。

それでは、まず良かった点につきましては、様々な市民参加の手法を用いて意見を取られていたのは良かったというような御意見を頂きました。

あとは、審議会の開催の前に、アンケート調査ですとか意見交換会などを実施されていて、それらの結果というものが審議会のほうに反映をされていたのは評価できるというような御意見を頂きました。

それから、アンケートの取組については、おおむね良くできているのではないかなというような御意見を頂きました。

それから、各手法の事業計画などの実績のデータが年度ごとに整理をされていて、非常に見やすかった点は評価できるというような御意見を頂きました。

それから、改善点といたしましては、意見交換会につきましては、高校生を対象とするのであれば、学校の先生などをお願いをすれば、もう少し人数が集まったのではないかなというような御意見も頂きました。

それから、審議会ですけれども、Zoomなどのオンライン会議なども検討する余地があったのではないかな。書面会議で実施された理由が分からないので、そういったZoomなどのオンライン会議も活用する余地があったのではないかなというような御意見を頂きました。

それから、パブリックコメントの提出された意見に対する市の考え方についての原文が

確認をできなかったということで、何かインデックス等があると閲覧しやすいですという
ような御意見を頂きました。

それから、アンケートの調査結果がどのようにプランに反映をされているのかが分から
ないので、こちらについては、公表されているといいのではないかというような御意見を頂
きました。

それから、審議会と意見交換会については、周知公表等々について不十分なところがあり
ましたので、不足感があるというような御意見を頂きました。

それから、審議会のほうで、会議の開催内容ですけれども、1時間の審議と書面会議とい
うことで、もう少し時間を取って審議されたほうがよかったのではないかというような御
意見を頂きました。

それから、アンケート調査なのですけれども、高齢者施設等々にもアンケートを取って、
対象範囲を少し考えたほうがよかったのではないかというような御意見を頂きました。そ
れから、同じくアンケート調査のほうで、学校のPTAさんなんかを通して、結果はフィ
ードバックすべきであったというような御意見を頂きました。

それから、意見交換会のほうで、実際の参加者の内訳としては高校生10名ということで、
しかも全員男性だったということがありまして、男女のバランス等は考える余地があつた
のではないかというような御意見を頂きました。

それから、審議会の第2期の人員を募集する際に何か対策を講じられたのかが疑問であ
るとというような御意見。

それから、審議会の開催回数が、1年半の間に4回しか開催されていないのは、ちょっと
少ないのではないかというような御意見を頂きました。

それから、20歳以上の市民にアンケートを取りましたけれども、発送件数が2,000件とい
うのはちょっと少ないのではないかというような御意見を頂きました。

それから、アンケートの結果公表が時期が遅いということで。できれば1か月から1か月
半ほどを目安に、早めに市民に公表する必要があつたのではないかというような御意見を
頂きました。

最後に、担当課への質問事項ですけれども、アンケートですとか意見交換会における情報
というのは、どの程度審議会での議論に反映をできたのか伺いたいというようなことと、併
せて、審議会や計画内容に反映する上での難しさですとか、工夫されたことがあれば教えて
いただきたいというような御質問を頂きました。

それから、意見交換会。こちらの開催日を複数日に設定するという事は検討されなかつ
たのでしょうかというような御質問を頂きました。

それから、アンケートの発送件数を2,000件とした理由を教えてくださいというような御意
見と。

それから、アンケートと意見交換会につきまして、対象を高校1年生と小学校5年生を対
象とした理由を教えてくださいというような御質問を頂きました。

それから、パブリックコメントに関するデータはどこで閲覧できるのかというような御
質問と、意見交換会には、何名の市民が参加されて、どのような対話がされたのかとい
うような御質問を頂きました。

それから、審議会のほうですけれども、第1期と第2期に分かれているということと、ま

た、それに伴い公募委員も入れ替わっていることについて、何か理由があるのかということ
で御質問を頂きました。

それから、最後にアンケートの公表が遅かったということで、遅くなってしまった理由が
何かあるのかというようなことについて伺いたいというような御質問を頂きました。

事業番号③ 第2次行政経営改革実施計画策定事業

○委員 基本的な市民参加の取組が行われていたので、大きな問題はないのかなと思っ
たのですけれども。特徴的だったというか、良かった点が、公募市民の年代がこれまで見てき
たものよりも多様だったということで、そのときに無作為抽出の方が入られて、若い方が入
られていたので、うまく機能した事例かと思います。

それがうまく機能した背景として、審議会の開催時間が平日の夜だったということなの
ですけれども、これがほかの会議と比べて全然違う時間帯なので、どういう背景でこの時間
にしたのか。行政経営改革ということで企業の方も入られていたので、そういうこともある
のかなと思いますし、もしかしたら前回やられていたときも、平日夜だったのかもしれない
のですけれども、そこをお伺いしたいと思いました。

ただ、審議会には、新しい世代というか、若い世代が入っていたのですけれども、パブリ
ックコメントのほうはアクセス件数が少なく。パブコメは意見を集めるだけではなくて、
検討されている内容を情報提供するという意味もあるので、閲覧回数を増やすというところ
に、もう少し力を入れられるとよかったのではないかと考えました。

○委員 まず個別計画に位置付けられていた行政経営実施計画を、本来であれば、市民参加
の対象ではないような気がするのですけれども、それに対して、積極的に市民参加の実施を
された点は、とてもいいことなのではないかというふうに思いました。

また、審議会の募集や事前周知については、公式LINEや公式TwitterなどSNSでも発信され
て、広く伝わるようにされている点がいいと思いました。

教えていただきたい点としまして、審議会公募委員の選考基準として、今までにおける市
政への参画経験の少ない者というのをあえて書き加えられている根拠が何かありましたら、
御教示いただきたいです。

あと、パブリックコメントにつきまして、お一人の方から3件寄せられていたと記憶して
いるのですけれども、素案には反映できないというふうにフィードバックがなされていま
したが、なぜ反映できないのかなという理由が個人的に気になりました。

最後に、パブリックコメントに寄せられた意見について、資料の49ページで、審議会等へ
の結果報告は令和4年3月29日というふうになっているのですけれども、資料の47ページ
を拝見しますと、審議会は第8回会議の令和3年11月26日というのが最後なので、どのよう
な形で審議会に報告されて、審議会の皆様からの御意見を聴取されたのかという点につい
て、教えていただけますとありがたいです。

○吉井会長 ありがとうございます。

それでは、3番目で私になりますけれども、私も簡単に申し上げます。

何が悪いということでもないというのは、これ、基本的には、市民参加の手法としては審
議会とパブリックコメントの二つでございますので。それについて、何か不十分さといいま
すか、対応が十分ではないなという、うまく申し上げられないのですけれども、そんなこと

がございます。ただ全体的に駄目だとかいうことじゃないのですけれども、その辺は、対応不足ではないかという感じをしました。

ヒアリングについては、市民参加の方法が二つで十分と思われた根拠は何かということ伺いたいという。二つでいいんだということであれば、それは考えますけれども、一応それを伺いたいという。この件については、その2点が私からは載せさせていただいたということでございます。

○委員 一番最初に思ったのは、この調査票の事業の期間というのが1年間なのですよ。3月、令和3年から令和4年、1年間だということ。1年間の中で非常によく集中して会議等もやって。私は非常にいい、なかなかプロ的な要素が多い事業じゃないかなと思うのですけれども、集中していろいろ会議がやられていたなというふうに思いました。

ただ、意見交換会ということじゃないかもしれないですけれども、これタイトルだけ聞いても、行政経営計画だとかいう話になったときに、何なのだろうというふうに思うことがあるものですから。こういうものなのですよというようなことなんかを審議会の中だけじゃなくて、1回か2回は、市民に対して直接、意見交換じゃなくて、白井市としてはこういうことを考えているのです、こうなのですというような話が1回ぐらい、市民参加の手法としてあってよかったのじゃないかなと。

あとは、この1年間の中では、やれることは非常によくやっていたのじゃないかなというふうに思いました。

○委員 市民参加の手法が審議会とパブリックコメントだけということなのですから。事業をやられた課の自己評価として、個別計画の多くは市民参加を行っていない中で、計画の策定に当たり、審議会の設置やパブリックコメントの募集の二つの市民参加を行っていることから、十分な市民参加を行うことができたものとする。ここのところは質問もしたいと思うのですけれども、どういう意味か、私自身、よく理解できなかったのですが。

少なくとも審議会の資料を見ますと、合計で傍聴者が50名ということで、毎回7、8名ぐらい出ておられる。同じ方ばかり傍聴されているかどうかは分かりませんが、これだけ関心の高いテーマであるというふうに思いますし、そういうことからすると、本当に審議会とパブリックコメントだけでいいのか。

しかも、パブリックコメントの意見が出されたのは1件。お一人3件ですか、それだけしか出ていなくて、こういう手法に限られているということが妥当なのかどうか。

私さっき申し上げたように、この自己評価のところに書かれていることが理解できないので。その部分を、二つだけの手法しか使っていないというのは、全体に評価として、相対的に低い評価を私自身はつけています。

○委員 審議会としては、50%以上の市民が参加しているというか、そういう意味では全体的に市民の参加の率は高く、回数もそれなりにやられているのですが。

ただ、パブリックコメントが実施はされているけれども、それはこの事業といいますか、これの最終日ぐらいのところでききなりやって、それはこの中に反映される状況ではないところでやっているのですよね。だから、何のためにやったのかなという感じが一つしています。

ですから、そこは中で審議会以外にやるのであれば、もっと途中でやって、その結果もどこかに反映していくような、そういうやり方でないと意味がないので。私は、悪く言えば、

ほかの人を使いましたというアリバイづくりをしただけかなという感じでした。

○委員 私が担当課ヒアリングにお伺いしたいと思っているのは、自己評価という52ページのところなのですが、こちらのほうで、傍聴者の取扱いと書かれていて、これはどういうことなのか、具体的に詳しく教えていただきたいと思って。

評価されるべき点としましては、パブリックコメント、5ページのQRコードを掲載したという取組は評価できると思います。

あと、審議会についてなのですが、平日の夜に会議が開かれているという点は、市民に対してのペースに合わせているということは、評価できることのひとつだと思います。

ほとんどが今までの会議とかを見させていただくと、日中の午前中だったり、2時とか3時ぐらいまでの間とか、そんなふうなのなのですが、夜というのは、その点はちょっと今までの手法とは違った点ということで、市民参加の一つとして評価できるのではないかなと思いました。

○委員 前の二つに比べると、テーマとしてはとっつきにくい事業なのかなと。市民参加から考えると、ちょっと身構えちゃう部分があるような。事業のタイトル自体がそうなっているという部分もあるのですけれども。

公募とかパブリックコメントの募集とか、期間は全体的に短いなという感覚はありました。

あと、パブリックコメントですね。応募方法とかはすごく工夫されていると思ったのですが、周知の段階で、ほかにもっとSNS使ったりとかというふうな周知方法を使うというので、もうちょっと工夫をしていけば、もうちょっとコメント集まったかもしれないという部分があるので。今後はそういうところをどうしていくのかなとかという部分は、聞いてみたいと思います。

○吉井会長 ありがとうございます。

それでは、前と同様に御意見、各委員さんに御意見頂きましたけれども。

○事務局 1点補足をさせていただきたいと思います。

まず、この第2次行政経営改革実施計画なのですが、市民活動支援課としては、この市民参加の対象事項からは外れているものではあります。調査票にもありましたが、この計画自体が個別計画ということで位置付けられておりまして、どちらかというと専門的というのですか。地域防災計画等は、当然、市民の関わりが深い計画になるのですけれども、行政経営ということで、少し細かい専門的な内容が載った計画であるということから、市民参加の対象とはしていないのですけれども。

ただ、この担当している財政課のほうから、今回審議会とパブリックコメントのほうを用いて実施をさせていただきましたので、報告をさせていただきますということで承りましたので、今回の推進会議での評価にも入れさせていただいたところになります。

ただ、当然、市民参加推進会議では、あくまでも市民参加の基準、水準に基づいて、しっかりできていたかということに基づいて評価をしていきますので、個別計画だからこれでいいという形には、もちろんならないとは思いますが、一応そういう背景があって、今回、行政経営改革実施計画も含めさせていただいたというような背景がございますので。そこだけ、すみません、背景として御承知おきをいただければと思います。

○吉井会長 ありがとうございます。特に計画全体がどうのこうのと言っているわけじゃ

ないので。手法として、より良くという意味で、皆さん、各委員さんもコメントで評価していますので。その辺は皆さん、御理解いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

それでは、先ほどと同様に、様々な議論ということで、重ねるということで、いかがでしょうか。

私なんかは、この件についてだけなのですから、とにかく手法としてこだわるのですよ。これだけの内容のテーマの一つの事業なのに、市民参加の条例どうのこうのということもあるかもしれませんが、もったいない。審議会とパブリックコメントだけでは、もったいないという思いで見させていただきましたので。そういう思いなのですよね。

ですから、各委員さんの御発表も、自分勝手に言えば、重なっているなという思いが、同感をしているつもりなのです。自分的には。あと、いかがですか。

○委員 3年間いろいろな事業計画を見ていて、こんなに多く傍聴者が、会議ごとに必ずこんなにいっぱいいるというのは、初めてなのです。積極的に傍聴している人も多いなというふうに思ったものですから、一つの大きな市民参加がここには行われているのだろうと思ったのですよ。

ですので、それだけのことであれば、一旦外に向かっても、一言ぐらい、こういうことをやっていますという話があったら、100点以上じゃないかというふうにちょっと思った。

また、質問かもしれないですが、何でこんなに傍聴者が多かったのですかと。どこか行っていっぱいPRしたのですかと。単に会議でやっていますよと周知しただけでは、これだけの人は集まらないと思うのですよね、と思いました。

○委員 応募者の数を見ても全然違いますよね。応募者が11名。前の二つなんて本当に少ないというか、1名2名なのに。これについては、だから事業を担当しているところの人たちの思っていることと、市民の関心とはちょっとずれているのじゃないかなという。それだけ市民の人は関心が高いということじゃないかと思うのですけれども。テーマが。そこにちょっとかい離があるのかなと。

○吉井会長 むしろ担当課の方が、この中にこれを持ってきてくれたということ自体はいいことですよ。我々だって、何もけちつけるためにやっているのじゃないですから。よりよく、もっともっといろいろな形でしていこうと思いますけれども。特にこういうところで一緒にやっていきたいですよ。質問のほうにも載せていただいて、ありがとうございます。とりあえず、そういうことで。大体出ましたですね。ありがとうございます。

○事務局 確認させていただいてよろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、まず良かった点につきましては、基本的な市民参加の取組は行われていたのではないかというような御意見ですね。

それから、審議会の公募委員の年代ですけれども、多様な年代が集まっていることから、審議会がうまく機能していたのではないかというような御意見を頂きました。

それから、この計画自体が個別計画に位置付けられているにもかかわらず、市民参加の機会を設けられていたことは評価できるというような御意見を頂きました。

それから、審議会ですね。募集や事前周知について、公式のSNS等を活用されていた点については評価できるというような御意見を頂きました。

それから、審議会のほうで、この事業期間が1年間という短い期間にもかかわらず、審議

会も集中的に開催されていたのは非常に良かったというような御意見を頂きました。

それから、審議会の傍聴者が他の事業と比べて非常に多いことから、市民の関心の高いテーマなのではないかということがうかがえるということで御意見を頂きました。これは、傍聴者も参加者も共にということです。非常に多かったというような御意見を頂きました。

それから、審議会の傍聴回数が、全部で8回の会議で50名ということで、市民の関心が高い案件なのではないかというような御意見を頂きました。

それから、審議会の委員につきましては、50%以上の市民の方が参加しており、また審議会の開催回数も多かったことについては評価できるというような御意見を頂きました。

それから、パブリックコメントの募集において、広報しろいにQRコードを掲載したという取組については、評価できるというような御意見を頂きました。

それから、審議会ですけれども、ほとんどの審議会が日中に開催されている中で、この会議においては、平日の夜に会議が開催されているということで、市民の方も非常に参加しやすい時間帯を設定されていたことは評価できるというような御意見を頂きました。

それから、パブリックコメントの応募方法について、多様な応募方法を設定していただいていたことは非常に評価できるというような御意見を頂きました。

そして、改善点ですけれども、パブリックコメントのホームページへのアクセス件数が少なかったのは残念でしたというような御意見を頂きました。

あとは、このパブリックコメントについては、募集するだけではなく市民への情報提供という側面もありますことから、もう少し閲覧数を伸ばす工夫があってもよかったのではないかというような御意見を頂きました。

それから、市民参加の方法が二つのみであったのは、ちょっと不足感があるということで、もう少し複数の手法を用いたほうがよかったのではないかというような御意見を頂きました。

それから、この計画のテーマが行政経営改革ということで、専門的なテーマでありますことから、この審議会とパブリックコメントに加えて、何か市民への説明会等、市民に説明する機会があると、さらによかったというような御意見を頂きました。

それから、この行政経営改革実施計画については、関心が高いテーマであるにもかかわらず、二つの市民参加の方法で足りるという考え方はどうなのかというような御意見を頂きました。

それから、パブリックコメントの実施時期が事業の終了間際であったことから、パブリックコメントで頂いた意見というのが計画にどのように反映されたのか。または反映する余地が本当にあったのか疑問であるというような御意見を頂きました。

それから、審議会の公募ですとかパブリックコメントの募集につきましては、募集期間が短かったというような御意見を頂きました。

それから、最後にパブリックコメントの周知、あるいは公表の方法に工夫が欲しかったということで、例えばSNS等も使って周知をすれば、もっと御意見が頂けたのではないかというような御意見を頂きました。

それから最後に、担当課への質問事項についてですけれども、審議会の開催時間を平日の夜に設定した背景を教えてくださいというような御質問を頂きました。

それから、審議会の公募委員の選考基準の中で、今までにおける市政への参加経験の少な

い者としているのはなぜなのかというような御質問を頂きました。

それから、パブリックコメントで頂いた御意見について、審議会への結果報告については、令和4年の3月29日と調査票で書かれておりますけれども、この日には審議会が開催されておりませんでしたので、委員の皆様にとどのように周知を、フィードバックをされたのか聞きたいというような御質問を頂きました。

それから、パブリックコメントで頂いた御意見について、素案に反映できないとされた理由を教えてくださいというような御質問を頂きました。

それから、市民参加の採った方法が二つで十分だと思われた根拠について教えてくださいというような御質問を頂きました。

それから、審議会のほうで、傍聴者がほかの審議会に比べて多かった理由について教えてくださいということです。また、周知等をされたというような背景があったのか、教えてくださいというような御質問を頂きました。

それから、この行政経営改革実施計画が個別計画に位置付けられておりますけれども、担当課の判断として、審議会とパブリックコメントの二つの市民参加で十分だったというようなことが書かれておりましたけれども、そういった理由について教えてくださいというような御質問を頂きました。

それから最後に、調査票の自己評価の欄に書いていただいた内容で、今後の課題である傍聴者の取扱いとは、具体的にどのようなことを言っているのか、ちょっと分からないので説明をしていただきたいというような御質問を頂きました。